

経営比較分析表（令和2年度決算）

熊本県 益城町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ² 当たり家庭料金(円)	
-	54.72	96.33	2,780	

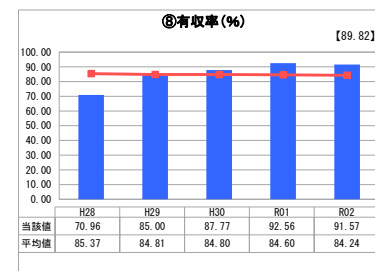
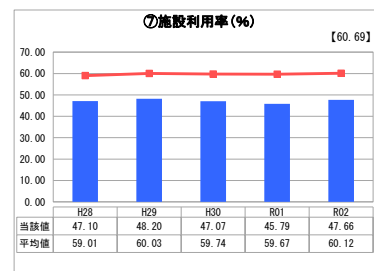
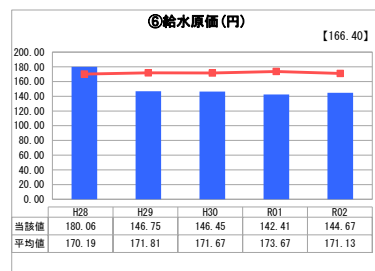
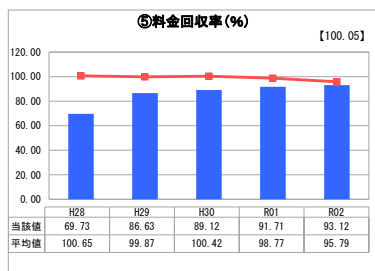
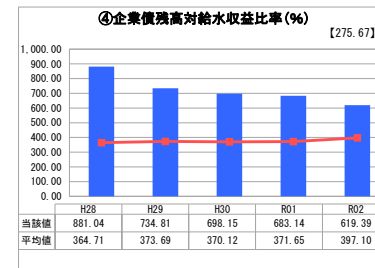
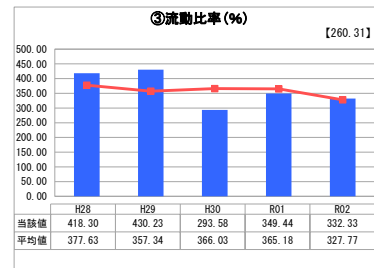
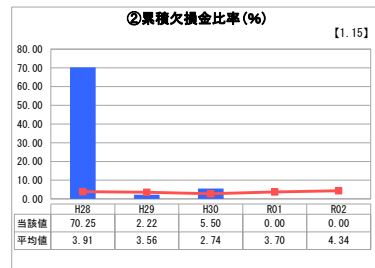
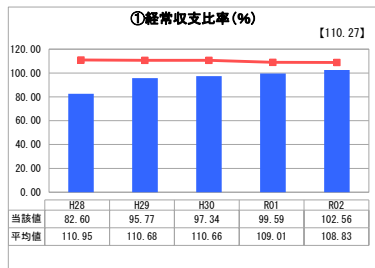
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
33,357	65.68	507.87
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
32,103	20.53	1,563.71

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

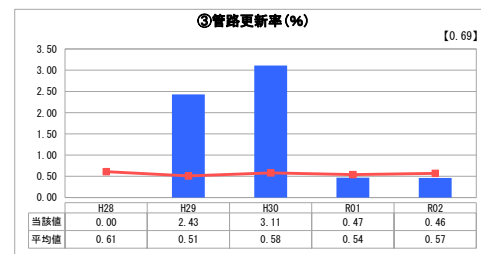
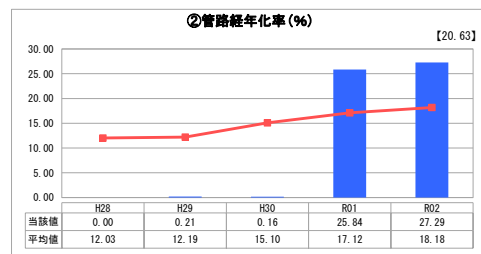
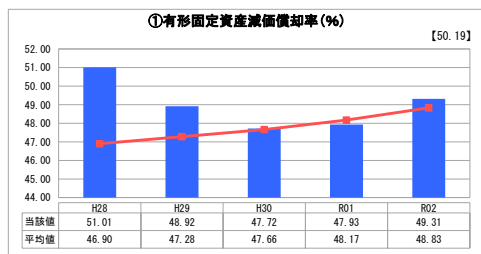
1. 経営の健全性・効率性について

①②経常収支比率は100%を超えており、累積欠損比率もないことから、現時点では健全な経営水準であるといえます。
 ③流動比率は、類似団体平均値と比較すると僅かではあるが上回っており、短期的な支払能力は十分備わっています。
 ④企業債残高対給水収益比率は、減少傾向にありますが、全国平均及び類似団体平均値を大きく上回っています。引き続き起債を抑制することにより改善する必要があります。
 ⑤料金回収率は100%を下回っており、給水に係る費用が給水収益以外の収入で賄われていることを示しています。
 ⑥給水原価は、全国平均及び類似団体平均値より安価な状況が継続しています。
 ⑦施設利用率は、全国平均及び類似団体平均値より下回った状況にあるため、効率的な施設整備を検討していきます。
 ⑧有収率は、全国平均及び類似団体平均値より高い数値となっています。今後も計画的な老朽管の更新や漏水対策に取り組んでいきます。

2. 老朽化の状況について

①②有形固定資産減価償却率及び管路経年率は、増加傾向にあり、償却資産の老朽化が進んでいることがわかります。計画的に施設及び管路の更新を実施する必要があります。
 ③管路更新率は、全国平均及び類似団体平均値を僅かに下回っています。今後も財政状況を考慮しながら、復興事業と併せて計画的な更新を実施する必要があります。

2. 老朽化の状況



全体総括

今後は、当町の復興事業、耐用年数を経過した老朽管や施設の更新による建設改良費の増加が見込まれることから、経営状況の悪化が懸念されます。将来にわたり安定した経営を維持していくために、アセットマネジメント計画を策定し、財政状況を考慮しながら、合理的かつ計画的な施設・管路の更新に取り組んでいきます。